

## RSV感染症が猛威を振るっています！ その対策とは？

RSV感染症は、一度かかっても免疫がつきにくく何度も感染し、小児だけでなく成人を含む**すべての年齢の人が発症**します。周囲の大人や年長児が感染源となる可能性があることから、家族間の感染や集団生活の場での流行の拡大を防ぐことは困難な感染症です。

RSV感染症の感染経路は、**接触感染と飛沫感染**です。集団生活の場で、感染を広げないようにするための対策として**最も重要なのは、手洗い**です。多くの場合、病原体がついた手で口や鼻などを触ることで感染するためです。保育者は、食事の前や子どものお世話をする前後など、こまめに手洗いをして、**ペーパータオルで手を拭く**ようにしましょう。**風邪症状のある保育者はマスクをする、おもちゃの共有は避ける**などの対策も重要です。

消毒には、消毒用エタノールや次亜塩素酸ナトリウムが有効です。

汚れが残しやすいところ



### 9月の感染症情報

9月に入り、今治市内の複数の小学校で**A型インフルエンザ**の報告がありました。9月末の時点では流行の広がりはありませんが、今後の感染症情報に注意してください。

RSV感染症は8月から始まり、今も市内の保育所、こども園、幼稚園などで幅広く流行しています。

### シリーズ キッズケア・青い鳥がめざす保育 ⑦

～ 発達を学び、発達の一步前の活動を知ること、発達を促す保育を！～

#### 1歳児前半ごろ ～指差しの主人公になる！～

〇〇できてうれしい  
なあ！  
やったね！

子どもの発見した喜び、自分でできた喜びを周りの大人と一緒に喜び、共感してあげているでしょうか。子どもの発見の感動が指さしにあらわれ、それに大人が共感することで、言葉の土台が作られます。子どもにとって、大人との共感の世界が子どもの発達を一步前へ進めることになるのです。

こんなの見つけたよ！  
すごいね！なんだろう？



**共感の言葉って？**  
すごいね。やったね。  
できたね。がんばったね。  
などがあります。

“発達は子どもの  
願いから始まる”  
白石正久著より

次回は1歳後半頃をします。

### 9月のご利用状況

9月の利用延べ人数は120名、一日平均利用人数は6.3人でした。年齢別では、1歳児が52名(43%)で最も多く、次いで3歳児の20名(16%)、2歳児の16名(13%)の順でした。疾患別では、RSV感染症が38名で最も多く、次いで急性上気道炎の33名でした。その他、アデノウイルス感染症、溶連菌感染症、ヘルパンギーナ、感染性胃腸炎、インフルエンザなどがあり、9月は感染症の種類が多彩でした。入室前にできる限り診断を確定してから、疾患ごとにお部屋割りをするよう努力していますが、入室前に100%確定診断をすることは困難です。そのため、医師や看護師と相談して、さまざまな感染対策を講じながらお預かりをしています。